

参加費：無料

定員：50名

グリーン成長分野技術動向セミナー

日時：2024年11月19日（火）13:00～16:30

場所：サン・ピーチOKAYAMA

岡山市北区駅前町2-3-31

申込方法：

下記URLまたはQRコードからお申し込みください。

URL https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/3360.html

申込締切：2024年11月11日（月）17：00（定員になり次第締め切らせていただきます）



県内企業のグリーン成長分野への新たな取り組みを支援するため、グリーン成長分野技術動向セミナーを開催します。今回のセミナーでは、農業機械の電動化の技術動向や、製造業におけるCO2削減および食品製造システムへの取り組み、また、県内農業機械メーカーの新しい取り組みなどを紹介します。新たなビジネスチャンスの獲得に向けて、ぜひご参加ください。

13:05～14:05

農業機械の電動化と将来像について 株式会社やまびこ

執行役員 製品開発本部長代理 千葉 光胤（ちば みつたね）氏



時代の流れは既に大きく電動化へシフトしていますが、その流れは農業機械においても変わりません。世界市場の潮流から日本市場の今後のトレンド推測と、弊社の電動化への取り組み、及び協業に関する考え方、さらに電動化の大波の先にある未来とそこへ向けた対応を紹介いたします。

国内トップクラスの実績を誇る

小型屋外作業機械／農業機械メーカー

小型屋外作業機械／農業機械／一般産業用機械の分野で、海外拠点を持ちグローバル展開する東証プライム市場上場企業。

独自リチウムイオンバッテリーを保有し、農業機械の電動化を主導しています。

14:05～15:05

製造業カーボンニュートラルへの技術商社のアプローチ 株式会社立花エレテック

FA技術第一本部 FAE部
営業技術担当部長 奥田 晶彦（おくた あきひこ）氏



CO2削減には「見える化」の実現が必要となります。この見える化に対して、「どの様なFA技術を使い、どの様に機能させ、CO2を削減させていくか？」を考える必要があります。製造業におけるカーボンニュートラルへの取り組みに対して、技術商社・立花エレテックが日々どのような提案をしているかをご紹介します。

高度化・多様化するニーズに応える

技術商社

従業員全体の約1/4を占める200余名の技術者が、顧客の問題解決や要求を実現するためにシステムのコンサルティングやハード・ソフトウェアの設計・制作を含むソリューション提案など提案型の事業を推進。

メーカーとともに新技術・新製品を積極的に提案しています。

15:05～15:20 休憩・名刺交換

15:20～16:20

スタートアップ連携を通じた「地球を耕す」取組 KOBASHI ROBOTICS株式会社

執行役員 手塚 裕亮（てづか ゆうすけ）氏



親会社であるKOBASHI HOLDINGS株式会社は、「地球を耕す」という理念のもと、より豊かな人々の生活および地球を次世代に残すべく、地球規模の課題解決に取り組んでいます。なかでも地球や人類の課題解決に資する技術の社会実装を加速させるため、量産化を含めてスタートアップ企業のモノづくりを包括的に支援しています。

今回は具体的な取り組み事例やアプローチについてお話をさせていただきます。

ものづくりの各工程の包括的且つ

社会課題を解決する技術の社会実装支援

トラクター用作業機・耕うん爪の開発-製造-販売を行う小橋工業株式会社のグループ会社です。試作開発から量産・メンテナンスまで、ものづくりの各プロセスを包括的に支援する次世代型ものづくりプラットフォームサービスを進めています。

「地球を耕す」を理念として、地球や人類の課題解決に資する革新的テクノロジーの社会実装を支援しています。